

平成 28 年度第 2 回弘前市立図書館協議会会議概要

- ◆平成 29 年 3 月 28 日（火）15：00～16：37
- ◆弘前市立図書館 2 階 会議室

- ◆出席委員：松本委員長、高嶋委員、工藤委員、竹内委員、境委員、田澤委員、成田委員、島田委員、渡邊委員（全 9 人出席、欠席なし）

- ◆弘前図書館側：伊藤弘前図書館長、柴田館長補佐、相馬主幹兼サービス係長、三上整理係長、三上岩木図書館長、神相馬ライブラリー総括主幹
TRC 図書館流通センター(株)山谷館長、菊池業務主任

委員長	<p>(あいさつ、出席者紹介 省略)</p> <p>ただいまから、平成 28 年度第 2 回弘前市立図書館協議会を開会いたします。それでは、本日提案されております案件について事務局より説明をお願いします。</p>
館長補佐	<p>案件 1 と案件 2 について一括で説明します。</p> <p>1 ページ目 2 番目の委員任期について。平成 28 年 8 月 1 日から平成 30 年 7 月 31 日の 2 年間です。3 番目の第 1 回弘前市立図書館協議会は 8 月 1 日に開催しました。4 番目の協議会が本日になります。5 番目以降が今後の予定は平成 29 年の 10 月頃開催を考えています。案件は指定管理がスタートしてから半年間の業務報告等と利用者の声をふまえて、今後の検討をします。そして、6 番目の協議会は平成 30 年の 6 月頃に開催を考えています。指定管理者が提出する主な報告書は、毎月の業務報告、1 年間を通した業務報告、アンケートを実施したものを報告することとなっています。さらに教育委員会が示す評価項目に基づいて、評価等も厳正にすることができるかと思えます。</p> <p>2 ページをご覧ください。実績はすべて 12 月末のデータです。主要事業です。下から 3 段目雑誌スポンサー制度を 28 年度からスタートしました。業者の方に雑誌をご購入頂いてそれを図書館に並べています。4 つの会社が 8 つの雑誌を購入しています。一番下が古文書等デジタル化推進事業です。平成 29 年度から本格的に実施していきます。</p> <p>3 ページについて。岩木図書館、こども絵本の森、相馬ライブラリーについては例年どおりの事業を実施しています。</p> <p>4 ページ目蔵書の本数は 497,477 冊が弘前図書館の蔵書数です。50 万冊がリミットで、ほぼ飽和状態です。購入図書は推移です。平成 28 年が</p>

館長補佐	<p>合計 6,284 冊とありますが、12 月末の集計ですので、最終的には例年どおり 1 万冊は購入します。</p> <p>図書館の利用状況です。貸出者数 1 日平均は、平成 26 年度本館が 1 日平均 303 人の貸出者数、27 年度 305 人そして 28 年度は 288 人と減っています。貸出冊数も 1 日平均が減っている状況です。</p> <p>5 ページ岩木図書館の利用状況は、貸出者数、貸出冊数ともほぼ前年並み横ばい状態です。こども絵本の森は、1 日平均が前年を上回っています。貸出者数、貸出冊数は順調に伸びています。</p> <p>6 ページの相馬ライブラリーは、貸出者数、貸出冊数ともに前年を若干下回っています。</p> <p>7 ページです。サービスの状況、投書への対応は、弘前市立図書館に投書箱を準備しています。ホームページからも利用者の声をいただいています。投書数 93 件、実投書件数 79 件でした。内訳は、施設設備 24 件、図書などに関して 43 件、職員の対応について関する苦情の投書 16 件、その他 10 件です。2 階調査室のレファレンスについて。一般 9 件、郷土に関するもの 245 件合計で 254 件です。</p> <p>図書のリクエスト冊数は、8 月に委員から質問があり、20 冊までリクエストできましたが、平成 28 年度から 12 冊までに減らしました。利用者からは、総じてご理解いただきました。リクエストは 1,063 件ですが、年度末には例年どおり 1,500 件と予想しています。</p> <p>図書閲覧室ボランティアの年間登録人数は 11 人でしたが、8 月に募集をして 29 年 1 月より 36 人の方が登録しています。閲覧室の業務を午前、午後のいずれか都合の良い時間 2 時間のボランティアです。図書館として大変助かっています。</p> <p>小学校の見学、中高校生、大学生のインターンシップは、申込みがあればすべて受け入れています。</p>
委員長	<p>案件 1、2 をご説明頂きました。何かご質問・ご意見等ございましたらどうぞ。</p>
委員	<p>図書館の利用状況について、移動図書を孫と一緒にのぞいてみました。新しい本もたくさんあって、幼稚園児でも届くように低い位置に置いてあり、大変利用しやすかったです。近所の高齢者の方も楽しみにしているという声を聞きました。これからも身近な形で利用できることを希望いたします。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。その他今年度図書館を利用して何かご意見、ご質問がありましたらどうぞ。</p>

委員	<p>私は相馬に住んでいて相馬ライブラリーを利用していますが、いつ行っても閑散としているので、もう少し置く本を工夫してみたら良いのではと思いました。相馬だけが指定管理ではなく行政の管轄になるようなので、利用状況もこのままだと心配になりました。中央公民館の方々もチラシを撒くなど、また、温泉が隣接しているので、温泉利用者に働きかけるなど工夫をしたらどうかと思いました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。確かに1日平均2人位と下がっていますが、それを受けて、29年度どのようなお考えでしょうか。</p>
相馬ライブラリー 総括主幹	<p>数値は委員のおっしゃるとおりです。相馬は平成27年度児童書の購入冊数を多くしたため、子ども達が多く出入りしたのではないかと思います。現在、春休みで子ども達の出入りが多く、今年度の利用状況は平年と変わりないくらいになるかと思っています。温泉は、弘前市立図書館で借りて温泉で返すというのが、最近目立っています。外でも返せるのでライブラリーの中には入る必要がありません。多い数値ではないので、本の種類を増やしたいと思っています。棚も入るスペースはあります。購入のほか寄贈など工夫していきます。新刊情報を温泉に掲示したり、新しい催し物なども温泉側をお願いして掲示しています。今後調査分析していきたいと思っています。</p>
委員	<p>読み聞かせで相馬に行くと、事業を7相馬地区内にスピーカーで、アナウンスしているなど努力をしている姿が見られました。図書(館)の位置がなかなかわからない、地域の人が利用しづらい、気軽に行きにくい感じがします。バスの待合所の正面の部屋に前は本を置いていて、見ている人がいました。本を見る人は結構いて、雑誌や本を手にとってるので、告知の紙ではなく前面に本を置いて、こんな本もあると表紙を見せて、奥にはそれに関する本があるよとデモンストレーションをして欲しいと思っています。</p>
委員 相馬ライブラリー 総括主幹	<p>交流センターに置いている本は借りられない本なのではないでしょうか。 その本は、寄贈を受けた本で、原則は貸出用ではないのですが、要望があれば貸出台帳を作って貸出しは可能です。</p>
委員	<p>選挙の時に目についたので、借りたいと思って図書館の人に聞いたところ、寄贈の本なので貸出はできないと断られました。借りられる本も置くようにすれば良いのではないのでしょうか。高齢の方も温泉に来るので、健康の本などみんなが読んでくれるような新書を買うことを考えてほしいと思いました。</p>

相馬ライブラリー 総括主幹	<p>バスの待合所で交流コーナーの場所は、市教育委員会、御所温泉、相馬総合支所、中央公民館相馬館、相馬ライブラリーの複合施設として間借りしている状態で、勝手に本を置くことは出来ないとされていました。健康雑誌を置いてほしいという希望も以前あり、温泉にスペースを設ける検討はしていました。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。</p>
館長補佐	<p>それでは、案件1と2の説明について他にございませんか。ご意見等が無いようですので、これをもって案件1と2を終了いたします。</p> <p>続きまして、案件3と4について事務局より説明を願います。</p>
	<p>案件3と案件4ともに、29年度の関係で。「弘前市立図書館、郷土文学館のあり方」という図書館の運営方針を教育委員会が作成したものです。利用者やボランティアのご意見をまとめたもので、今後、図書館郷土文学館の基本方針となるものです。</p> <p>事業計画案は従来の事業で、指定管理者提案の計画はこれには盛り込んでいません。後程説明します。</p> <p>図書館の運営は、指定管理者に委ねますが、2階調査室の貴重資料の取扱いは、これまで通り教育委員会の直営で行い、生涯学習課が所管し、今までどおり郷土に関するレファレンスを継続します。</p> <p>資料のデジタル化は、早い段階でデジタル保存し、インターネットで公開していきます。公開は桜まつり前の3月です。デジタル化の業務や指定管理との調整は直営で行っていきます。</p> <p>予算について。29年度予算は1,800万円増えております。指定管理にして経費削減になるはずですが、古文書のデジタル化で1,600万ほどかかるためにその分が大きく増えました。岩木図書館・こども絵本の森・ブックスタート事業費は指定管理料の中に含まれています。</p> <p>図書費は、29年度は28年度と同額を計上しています。指定管理になっても同じ金額の図書を購入し続けていくという予算です。図書は年間1万冊購入を想定しています。年間だいたい8万冊の書籍が発行されるという中で1万冊位は購入できているという状況です。</p>
委員長 館長補佐 委員長 館長補佐	<p>ご質問、ご意見ありませんか。</p> <p>4月1日からの新サービスも一緒に説明したいと思います。</p> <p>お願いします。</p> <p>4月1日から図書館が生まれ変わります、という資料の説明です。</p> <p>開館日、開館時間は変更はありません。新たなサービスとして冊数は無制限で貸出します。現在は6点です。</p>

館長補佐	<p>今後はカード1枚で制限なく借りられます。返本も処理がスムーズとなります。貸出無制限は、指定管理者のTRCさんの提案です。県内在住者はカードを作ることができます。身分証の提示で共通利用券を在住の市町村で発行してもらおう手順が不要になります。現在、約1,500の方が共通利用券でカードを作っています。県内では、つがる市に次いで2番目の試みです。</p> <p>次に消毒器の設置。自動の消毒機を1階閲覧室に配置したので、本の除菌、消臭ができます。W i F iの自動販売機設置、飲食ができるスペースを作ります。インターネットが使えるDVDを視聴できるようになります。</p> <p>3月30日と31日臨時休館して、館内の模様替えをします。目的のものがわかりやすい動線を確認します。</p> <p>今回、図書館の新たなスタッフを募集しました、その中には司書資格をお持ちの方が8名、3年以上図書館に勤務した方が5名と専門性の高い職員が多くなっています。今、4月1日のサービス開始にむけて、研修しています。</p> <p>「利用し交流し学べる図書館」、「ゲームをする日」、「音楽コンサート」、「ぬいぐるみの図書館お泊り会」等のイベントの検討や、調べ方案内の専門講座、市民を講師とする市民講座、地元企業や伝統工芸の地域工芸品のコーナーの設置も新たなサービスとして検討しています。</p> <p>オープニングイベントとして、4月1日と2日、4館のイベントとして、大きな紙で絵を描こう、ボードゲームで遊ぼう、たか丸くんが図書館にやってくる等を予定しています。</p> <p>4月1日、9時15分テープカット等もありますので、ぜひおいでください。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。4月からの事業についても含めてご説明いただきましたが、皆さま、ご質問ご意見等ございませんか。司書8名というのは何人中の8名でしょうか。</p>
館長補佐	<p>27名中の8名です。</p>
委員長	<p>大分増えますね。</p>
委員	<p>どんな意見でも構いませんので、何かございませんか。</p>
TRC業務主任	<p>開館時間について、よそは、みんな7時に閉まっているのでしょうか。</p> <p>私は岩手県から弘前の業務主任者として配属になります。岩手の時には8時まで開館している図書館に勤めていたことがあります。関東ではもう少し遅くまで開館しているところがあります。</p>
委員	<p>小さい子は親と一緒に図書館に来ればいいし、中学生くらいまでは7</p>

委員	<p>時でも良いのですが、高校生くらいになって受験勉強する子もたくさん出てきます。そうすると7時に閉まる、日曜日でも5時に閉まるとなると、帰ってきて勉強すればいいのですけれど、なかなかそうもいきません。平日の7時までに図書館に入れたい方も出てくるし、高校生も学校が終わって図書館で受験勉強する時間が7時までだと足りないと思っています。どこで勉強しているのか聞いてみたところ、土手町の「まちなか情報センター」、「参画センター」が9時まででした。学習情報館は10時までというのは知りませんでした。この辺では2つだけで、もうちょっと遅くまで開いていければなあと個人的に思っていました。ただ人件費も暖房もかかるし、北国は迎えに行くまで待っている場所もないので、せめて1時間、できれば30分延長はできないものか。試験的にもどうでしょうか。学生は車を持っていないので、利用や待ち合わせの場所にも使いつつ、周知につながり、北国では大変有難いのではないかと思います。閉館が7時というのは早いと思うので、調整して頂ければと思います。</p>
T R C 業務主任	<p>市とも協議して、現段階では、今の開館時間を踏襲するということになりました。市の利用者からもう少し長く開けて欲しいと意見要望があれば、今後検討させていただきます。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。その他ございませんか。</p>
副委員長	<p>図書館の事業計画で、今後やらないもの、プラスアルファになるものなどが今の段階でありましたらお聞かせください。</p>
T R C 業務主任	<p>基本的には今までの業務をそのまま引き継ぎます。 新しく行う事業は消毒機の設置、ぬいぐるみと図書館お泊まり会、ボードゲームの開催などです。好評なら継続的に行いたいという心づもりで資料を作っています。</p>
副委員長	<p>告知的には広報ひろさきですか。</p>
T R C 館長	<p>市に平成 29 年度事業計画を提出しています。無事に受理されていると思いますので、いつでも公開はできると思います。</p>
副委員長	<p>広報ひろさきに掲載されるということですか、結局、これまでと同じに掲載され告知されるのですか。 1日、15日号に定期的に掲載していきます。それを補完するために、アップルウエーブと提携していきますので、FMで流すとか、今まで以上に周知を図っていきたいと思っています。先ほど触触れませんでした。図書館の入り口のところにデジタルサイネージという電光掲示板を設置して、そこでも図書館のイベントとか流していきますので、今まで以上に市民の方や利用者の方に周知できていくと考えます。</p>

委員長	<p>広報は市の媒体等で行われるということですね。今の関連したことも構いませんが、何かございませんか。</p>
委員	<p>飲食スペースについてはどのあたりをお考えですか。</p>
TRC業務主任	<p>飲食スペースについては、図書館の1階にあるロビー、閲覧室には入らないスペースを考えています。飲む専用では2階の学習室を考えています。飲み物については、プルタブではなく、蓋つきのものを入れてもらって館内を汚すことのないよう自動販売機の業者と連絡を取っている最中です。</p>
委員	<p>館内の死角になるところで、犯罪というかいたずらというかそういうのに気を配って頂きたい。安全な図書館ということで。こども絵本の森とかに、たくさん小さい子どもさんがいらっしゃるので、ひとつの事件が大変なことになります。職員の方には大変なことかもしれませんが、安全という点でも気にかけていただければという要望です。弘前市は安全で良い街というために「防ぐ」ことも大切だと思うので目配り気配りを十分してください。</p>
TRC業務主任	<p>4月以降職員は定期的巡回し、死角になるところも定期的に見ていきます。安全管理に努めていきます。</p>
委員長	<p>ボランティアの方も人数も増え、人手も増えることですので安全管理の方もよろしくお願いします。その他ございませんか。</p>
委員	<p>閲覧ボランティア 36 名の方の活動について指定管理になって今までと変わらないという理解でよろしいでしょうか。違いをどのように感じて活動されているのかお伺いします。</p>
館長補佐	<p>先週 25 日、ボランティアの方に、これまでと同様活動は変わりませんとお話しました。指定管理になって、活動内容が変わることはないご理解いただきました。ボランティアさんの募集は昨年 12 月なので、まだ慣れていない状態です。ボランティア活動をしていくうちに、意識を持って活動していければいいと思っています。</p>
委員	<p>私はボランティアをしております。お話を聞いて理解いたしました。TRCのためにボランティアしているのではなく、弘前市のために役に立つようにと思っているので、TRCさんと膝を交えて話し合っ気持ちよくやっていきましようねと言われました。スタートしてからでないと思えない部分がたくさんあると思っています。</p>
委員	<p>今まで後援会から、資金面や物品のバックアップがありました。後援会が解散ということで、私たちすべて手弁当ということになるかと心配しました。図書館でボランティアしている人に何かお徳感があればいいなあと思います。TRCさんに考えていただいて、ボランティアしてい</p>

<p>委員長</p>	<p>てよかったと思えること、現金的なものでなく気持ちよくボランティアできたらと思っています。これから新しくボランティアする人に繋いで育てていきたいと思っています。まずは、スタートしないと現実が見えないのがボランティアの現状です。</p> <p>ボランティアをしながら、成長を実感したり、自分は役に立っているのだと実感できたり、学んでいく仕掛けなのでしょう。支援や研修だとかがこれからもなければということなのでしょう。他に何かございませんか。</p>
<p>副委員長 館長補佐 委員長</p>	<p>弘前ペンクラブとはどういう関わり合いがあるのでしょうか。</p> <p>弘前ペンクラブは郷土文学館の運営を分担しています。</p> <p>運営方針とかは教育委員会の方で指針をある程度作っていくのでしょうか。</p>
<p>館長補佐 委員長</p>	<p>来年度以降は、TRCさんの方で作成していただくことになります。</p> <p>学校図書館などの学校とのつながりは教育委員会と関わるかと思いますが、そこはどのようにになりますか。</p>
<p>館長補佐</p>	<p>4月図書館から司書の資格持つ職員が異動してその関係の業務をすることとなっております。</p>
<p>委員 TRC業務主任</p>	<p>本の返却の延滞をした場合、何かアクションをするのですか。</p> <p>督促という形で、お手紙、電話でこういう本をまだお持ちであればと、返却をお願いしています。</p>
<p>委員</p>	<p>予約している本が、弘前市立図書館でなかったため、他の図書館から貸出しを受けました。督促はどれ位で出るのでしょうか。</p>
<p>館長補佐 委員</p>	<p>45日が出ます。予約の入ったものは、電話で督促しています。</p> <p>他の図書館から借りた本の貸出しは弘前市立図書館でなければ、いけないと言われていました。私はいつもヒロロを利用しているので、なかなか弘前市立図書館まで行かれない。</p> <p>その本を借りたいのは私ですが、他の図書館から借りたのは図書館の事情だから、なぜ自分が弘前市立図書館に借りに来なくてはいけないのでしょうか。リクエストにしても相互貸借にしてもどこの館でも受け取れるようにしていただきたいと思います。</p>
<p>館長補佐 委員</p>	<p>やる方向で検討します。</p> <p>私は病院で働いています。病院の患者さんは本を読む方が多いのですが、病院にある本にも限りがあるので、図書館から借りられればいいなと思ったことがあります。今回委員になって読書団体というのがあるというのを初めて知りました。病院などの機関にもまとめて貸出していたらいいのでしょうか。</p>

館長補佐 委員	弘前市に住所があって、10人以上で登録して頂ければできます。病院職員で登録すればいいのですね。
館長補佐 委員	そうです。 はと笛号が病院にも来てくれれば高齢者の人も本を返しやすいのにと、思っています。
館長補佐	はと笛号については、今24カ所回っていきまして、平成29年度も継続していきます。
委員長	病院や福祉施設はニーズがありそうですね。10人集めて登録して利用するのはいいですね。
委員	はと笛号は巡回先が小学校が多く、病院とかはあまりないので考えていただければと思います。
館長補佐	今、TRCさんから、はと笛号について見直しの提案があります。福祉施設とか児童館とかも考えているようです。
委員	イベントの時に来てくださいというのは、お願いできるものですか。例えば子ども会の何かがあった時など。毎月第何土曜日は、皆さんの要望で順番に回るとか。 子どものうちに本を読む習慣をつけるのが大事だと思うので、小学生のうちに身近になればいいと思います。はと笛号で利用者カードはつくれますか。
館長補佐 委員長	はと笛号でも利用者カードは作れます。 今日、言い忘れたこととかございませんか。これだけは言っておきたいとかございませんか。 それでは、私から。学生がレポートの自由テーマで、青森県の全体の図書館の話ですが、18歳以下向けの事業をやっている割合は全国と比較して少ないらしく、読書会、研究会等の実施件数が少ないらしいです。 2015年に三沢の図書館に行ったとき、職員の皆さんが爽やかで、見ず知らずの私に挨拶してくれました。窓口で「こんにちは」と言われた図書館は初めてで印象に残っています。4月以降もみんなで意見を出し合ってより良い図書館にしていければと思います。それでは、案件5について他にご意見ありませんか。無いようですので、案件5を終了します。次の案件6について事務局から何かございませんか。
館長補佐 委員長	ありません。 では、これをもちまして平成28年度第2回弘前市立図書館協議会を閉会いたします。 (館長あいさつ、事務局連絡 省略)